

自由な遊びをはぐくむ、森の中のこども園

1) 施設名(用途)	よこすかぬく森こども園(こども園)
2) 所在地	掛川市横須賀 1039 の 1
3) 事業実施主体	掛川市こども政策課・社会福祉法人大須賀苑(掛川市)
4) 設計者	株式会社竹下一級建築士事務所(浜松市)
5) 施工者	株式会社若杉組(掛川市)
6) 施工期間	令和2年4月～令和3年3月
7) 施設概要	保育室棟 : 鉄骨造 平屋建て ランチルーム棟 : 木造 平屋建て 管理棟 : 木造 2階建て
8) 規模(延面積)	2,426.27 m ²
9) 主な使用樹種	スギ・ヒノキ・アカマツ集成材 静岡県産材 51.15 m ³ (うち FSC® 認証材 27 m ³)
10) 施設の特徴等	掛川市横須賀に建つ幼保連携型認定こども園。園が掲げる保育理念の「流れる保育」には子どもの主体性を重んじ、将来子どもたち一人ひとりが自立し、その子らしく生きていくことができるようにと願いが込められている。 230名定員のこども園を6つの園舎と3つの園庭に細分化し、内部と外部、半屋外が混ざり合う建築を目指した。ワンルームの保育室に2つの円構造を挿入することで大小さまざまな遊び場を生み出し、森の木々に見立てた木柱は内外を横断して配すことで屋内外に曖昧な領域を作り出す。ゆるやかな敷地高低差を園舎に取り込むように設けた床段差は、ワンルーム空間に高さ方向の変化を与える。森のように変化に富んだ空間と曖昧な領域によって、自由な子どもの遊びが展開されていく。

【施設の画像】

- ① (上段左) 東側上空から見る園全体を見る、② (上段右) 木柱が作り出す保育室の屋内空間
③ (下段左) 軒下から園庭の活動を見る、④ (下段右) 大断面の木梁で構成したランチルーム棟

